



Electric Guitar Amplifier

LGA-15S

取扱説明書 / 保証書

ごあいさつ

この度は Louis ギターアンプ LGA-15S をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

Louis LGA-15S は、独自の回路設計により良質で幅広いサウンドと音量感を実現したギター・アンプです。

GAIN コントロールと VOLUME コントロールの調節により、透き通ったクリーン・サウンドからブルージーなクランチ／オーバードライブ・サウンドまで、自在に調節することができるほか、DRIVE スイッチを押すことでハードな音楽にも対応したハイゲイン・サウンドを生み出すことも可能です。

また、ギターサウンドをより細かく調整するために、3 バンド・イコライザーも搭載。さらに、ヘッドホン端子と CD / MP3 入力端子を装備していますので、好きな音楽とギターの音をミックスして、ヘッドホンで楽しく練習することもできます。

なお、本製品を十分に活用していただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。また本書は大切に保管してください。

安全上のご注意

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。



警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- キャビネットをあけないでください。
- 修理は販売店に依頼してください
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

設置環境に関して

- 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・雨に濡れる場所
 - ・ホコリの多い場所
- 本機の背面と周囲との間には 15cm 以上確保し、正常な通気と冷却が妨げられない場所に設置してください。
- 本機の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

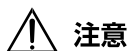
- 電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
- 付属電源コードはこの機器以外には使用しないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードがショートを起こしたり、断線するなどして、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- 落雷の恐れがあるときは、早急に電源プラグをコンセントから外してください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源（POWER）スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。本製品は電源コンセントが接続されている場合、電源スイッチがオフになっていても、電源から完全に絶縁されていません。
- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、販売店に修理を依頼してください。
 - ・電源コードやプラグが破損したとき

- ・異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・機器が（雨などで）濡れたとき
- ・機器に異常や故障が生じたとき

■電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

■アンプの電源をオンにした状態でヒューズの交換をしないでください。また定格を超えたヒューズを使わないでください。

※機器の安全の為にヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもあります。ヒューズが切れた場合内部に重大な故障が発生している可能性がありますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

■ギター、シールド・ケーブル、エフェクターなどのケーブルの接続、取り外しはボリュームを"0"にするか、電源（POWER）スイッチを切ってから行ってください。プラグを抜き差しする際のノイズは誤作動やスピーカー破損など本製品に深刻なダメージを与える場合がありますので必ずご注意ください。

■小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすらに注意してください。必ず保護者の方が監視／指導してあげてください。

■接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

使用上のご注意

■雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。

■電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

■この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハムノイズ（うなり）

を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。

■故障の原因になりますのでスイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。

■テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

■携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

■また、至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。

■本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。

■本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

■本製品の表面をお手入れする前に、電源コードをコンセントから外してください。

■お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。

■変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

■故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

■この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

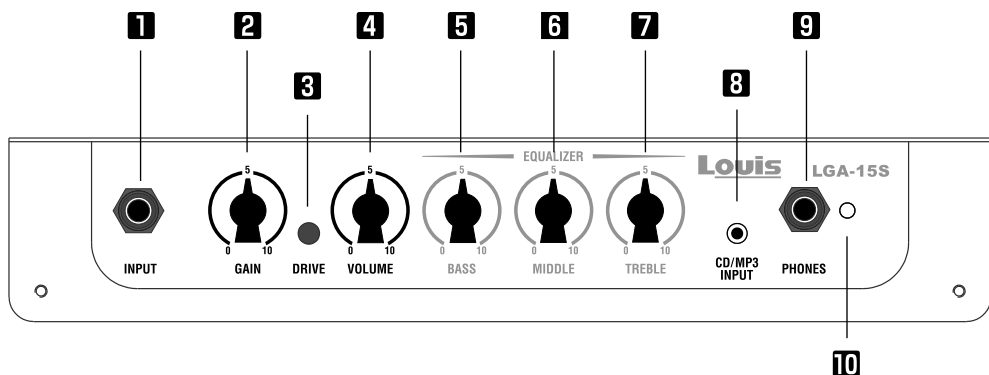
■音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。

仕様

商品名	: エレクトリック・ギター・アンプリファイアー LGA-15S
電圧	: 100V、50/60Hz
定格出力	: 15W
入カインピーダンス	: 1M Ω
出カインピーダンス	: 2 \times 4 Ω
スピーカー	: 2 \times 4 Ω , 3"
コントロール	: GAIN、DRIVE、VOLUME、BASS、MIDDLE、TREBLE
入力端子	: INPUT (GUITAR用)、CD/MP3 INPUT
出力端子	: PHONES
ヒューズ	: 250V/500mA
サイズ	: H347 \times W204 \times D175mm (製品)
重量	: 5kg (net weight)
付属品	: 電源コード、取扱説明書/保証書

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

各部の名称と機能



1 INPUT ジャック

フォンジャックの入力端子です。シールド・ケーブルを用いてギターと接続してください。

2 GAIN コントロール

プリアンプのゲイン・レベルを調整します。

DRIVE スイッチが OFF のとき、右に回すと徐々に歪み始め、ナチュラルなクランチサウンドが得られます。

DRIVE スイッチが ON のとき、右に回すと大きな歪みが得られ、同時にサスティーンの間と音量が上がります。

3 DRIVE スイッチ

ON にするとゲイン・レベルが大幅に増幅、サスティーンと歪みの量が上がります。

5 BASS コントロール

低音域をコントロールします。5 の位置を中心
に右に回すと低音域が増え、左に回すと低音域
が減ります。

7 TREBLE コントロール

高音域をコントロールします。5 の位置を中心
に右に回すと高音域が増え、左に回すと高音域
が減ります。

9 PHONES ジャック

ヘッドホンを接続する端子です。標準フォン
ジャックのヘッドホンを接続して下さい。な
お、PHONES ジャックにヘッドホンを接続す
ると、アンプのスピーカーから音が出なくなり
ます。

4 VOLUME コントロール

出力レベル（音量）をコントロールします。

6 MIDDLE コントロール

中音域をコントロールします。5 の位置を中心
に右に回すと中音域が増え、左に回すと中音域
が減ります。

8 CD/MP3 INPUT ジャック

ミニフォン・プラグにて外部オーディオ機器と
接続し、アンプでギター・サウンドとミックス
させることができます。ボリューム、音質など
は外部オーディオ機器側で調整してください。

10 LED インジケーター

電源オン時に点灯します。



11 POWER スイッチ

電源のオン・オフを切り替えるスイッチです。
POWER スイッチがオン（上）の状態です。
音を出すことができます。アンプを使用しないときは
スイッチをオフ（下）に切ってください。



POWER スイッチをオンにする前に、
必ず VOLUME コントロールが "0" であ
ることを確認してください。VOLUME
コントロールが上がった状態で電源をオ
ンにした場合、突然大きな音が出され
て使用者の聴覚を害する恐れがあります。
また突然の過大入力によりスピーカーが
損傷することがあります。

12 電源コード・ソケット

付属の電源コードを差し込み、反対側をコンセ
ントに差し込んで使用してください。

13 ヒューズ

電気系統に規定以上の電流が流れると、ヒュー
ズが切れて過電流から電装品を保護し故障、火
災などの発生を防ぎます。もし電源が入らない
場合はコンセントを抜いてから、ヒューズの点
検・確認を行ってください。また定格を超えた
ヒューズを使用しないでください。

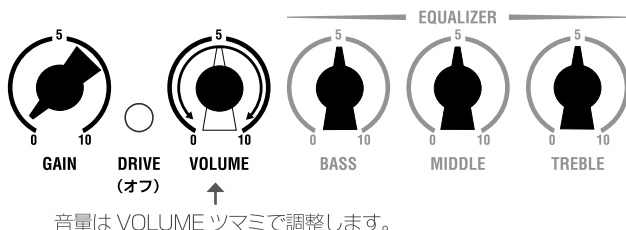
※機器の安全の為にヒューズが装備されていま
す。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れること
もありますが、内部に重大な故障が発生してい
る可能性が有りますのでヒューズを交換する前
に販売店にご相談ください。

セッティング例

使用するギターによって音色は変わりますが、ここではトーンコントロールの調整による音作りの例をご紹介します。

クリーン・サウンド例

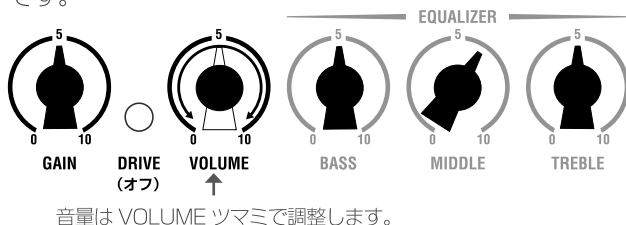
ポップスやバラードなど、比較的落ち着いた曲で使用されるサウンドです。VOLUME ツマミで全体の音量を調整して下さい。GAIN を控えめにセッティングするのがポイントとなります。



※ INPUT に大きな音を入力したり元々歪んだ音を入力したりすると、意図したクリーン・サウンドにならないことがありますのでご注意ください。詳しくは「故障かな?と思ったら」の「■クリーントーンのセッティングでも音が歪む」の項をお読み下さい。

クランチ・サウンド例

少し歪みが加わったサウンドです。VOLUME ツマミで全体の音量を調整して下さい。ピッキングにより多彩な表現ができるので、ブルース系の曲に最適なサウンドです。



ディストーション・サウンド例

ハードに歪んだサウンドです。DRIVE スイッチを ON にした上で、下図のようにセッティングしてください。全体の音量は VOLUME ツマミで調整します。音が伸びるのでギターソロなどのリード演奏に最適です。



故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない。

- ・コンセントに電源プラグは入っていますか？
- ・電源コードソケットから電源プラグは抜けていませんか？
- ・ヒューズは切れていませんか？

■ 電源は入るがスピーカーから音が出ない。

- ・ギターのパリウムが"0"になっていませんか？
- ・アンプのGAIN コントロール、VOLUME コントロールが"0"になっていませんか？
→ギターのポリウム、アンプのGAIN コントロール、VOLUME コントロールを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。
- ・ギターまたはエフェクターの出力がINPUT ジャックに正しく接続されていますか？
→INPUT ジャックにプラグが正しく挿入されているかご確認ください。またエフェクターをご使用の際はエフェクターの出力 (OUTPUT) 側からアンプにつながっているかご確認ください。
- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？
→接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態で音が出るかご確認ください。
- ・ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？
→一度他のケーブルでもお試してください

■ ノイズが出る。

- ・アンプの出力により周囲のものが振動 (共振) して音を出していませんか？
→設置方法、設置場所によって音色が異なって聞こえる場合がありますので設置方法、設置場所を変えて確認ください。
- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？
→接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態でノイズが出るかご確認ください。
- ・ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？
→一度他のケーブルでもお試してください。
- ・ギターの弦高が正しく調整されていますか？
→弦高が低すぎると、弦が指板に当たりノイズが発生することがあります。

■ クリーントーンのセッティングでも音が歪む。

- ・ギターやエフェクターの出力が大きくなりすぎていませんか？
→お使いのギターの種類や接続する外部機器 (エフェクターなど) によっては、出力が大き過ぎるために歪みを起こす場合があります。この様な場合には、ギターのポリウムを下げる、または接続した外部機器の出力レベルを下げるなどして音量を下げてお使い下さい。
- ・電池を搭載しているギターの場合、電池残量は大丈夫ですか？
→電池残量が少ないと、小さな音でも歪んだ状態になります。新しい電池に取り替えてからお試し下さい。

❑ 故障などの場合

この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな？と思ったら、お手数ですが上記の項目をぜひご確認ください。確認後、故障の原因が分からない場合は、お買い上げいただいた販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、速やかに修理を行えるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。